

私のデジタルカメラ使用の歴史

デジタルカメラの歴史と言えば大げさな話である。

私が使ったデジタルカメラのお話である。

机の引き出しを見ていたら古いデジカメを見つけたので他はないかと探してみた。

私が使っていたデジタルカメラが出てきたので並べてみた。

数多くのデジタルカメラを使ったことに驚き関心した。

ポジフィルムからデジタル画像に移る時に、周囲のカメラマンから「デジタルカメラだと惜しげなくシャッターが切れるから、ぜったいに撮影が上手になれない」と言われた。

その数年後には、言っていた人が知らないうちにデジタルカメラを手にしていった。

一時期に激変的にデジタル画像に移行された時代であったことを思い知らされる。



1997年頃購入

FUJIFILM DS-20

35万画素

標準画素数 VGA 640×480dot

メーカー希望小売価格 ¥63,000円(税別)

1997年5月13日発売

液晶モニター&オートストロボ搭載。

誰だったかセールスマンに勧められて買った記憶あがる。

ワープロを使っていた時代で撮影した写真を文章内に挿入するのが活気的だった。

撮影した画像がすぐに1.8型液晶モニターで見れることに感動した。

また、ビデオ出力端子が付いていてテレビに接続して大きく見れたにも驚いた。

凄い時代が来たものだと感心したのを覚えている。

1989年 NEC PC9800を使い始める

1989年 NEC 文豪7シリーズを使い始める

1992年 当店と別会場でワープロ教室を本格的に開始

1996年 プロバイダーに加入してネットサーフィンで情報入手

1997年 自作のホームページ「My Maniac Homepage」を OPEN

📷DS-20の画像 640×480ピクセル 72dpi 原画像(修整なし) ※ここではリンクして見れません！



2000年頃購入

OLYMPUS CAMEDIA C-460ZOOM

131万画素

2000年12月23日発売

DS-20から約3.8倍の画素数になった。

画像をみても解る通り綺麗だ。

ISO 感度125相当～500相当に感度自動。

ワープロからパソコンに変わり始めた頃で文書内の写真が綺麗になった。

光学3倍ズームがついてカメラらしくなった？

📷C-460ZOOM 1280×960ピクセル 72dpi 原画像(修整なし) ※ここではリンクして見れません！



2000年頃購入
 FUJIFILM FinPix1400Z
 131万画素
 メーカー希望小売価格 ¥56,000円(税別)
 2000年3月21日発売

2000年にはパソコンではWindows MEが発売されてノートパソコンを使うようになった。
 パソコン教室で使うカメラも1台では足りなくなり2台目を買った。

📷 FinPix 1400Z 1280×960ピクセル 72dpi 原画像(修整なし) ※ここではリンクして見れません!



2002年2月頃購入
 Canon DIGITAL IXY200
 211万画素
 メーカー希望小売価格 ¥79,200円(税別)
 2001年5月10日発売

なんと言っても小さく格好が良い。ポケットに入り外部にアルミかな金属で丈夫。
 カメラ操作も手軽で使いやすかった。ワープロやパソコン強入者によく勧めた機種だった。
 コンパクトカメラでは大好評だった。私もよく使った機種だ。

📷 IXY200 1600×1200ピクセル 180dpi 原画像(修整なし) ※ここではリンクして見れません!



2002年11月頃購入
 Canon DIGITAL IXY320
 320万画素
 メーカー希望小売価格 オープン価格

2002年10月18日発売

教室でちょっと貸出していたので予備機種が必要となった。
 このカメラも2004年の後半までよく使った。
 雑誌の取材でもメモ代わりに使った。
 コンパクトカメラにしては画素数も多くなり綺麗に撮れる。
 犬の写真をみると毛が綺麗に見える。

📷 IXY320 2048×1536ピクセル 180dpi 原画像(修整なし) ※ここではリンクして見れません!





2003年3月頃購入
Canon EOS-D30 APS-C サイズ

311万画素

メーカー希望小売価格 ¥358,000円(税別)

2002年5月17日発売

1眼カメラは高校生時代に OLYMPUS OM-1 を使っていた。その後4×4MAGZINE の関係で……
1997年に1眼カメラで Canon EOS-55 に変えた。ポジフィルムも使い始めた。
2001年に1眼カメラで Canon EOS-1n も使い始めた。
2002年に Canon EOS-1HS をメインカメラにした。

2002年に4×4MAGZINE の編集部が、Canon EOS-1D(フルサイズ415万画素・発売時価格 ¥750,000円)のデジタルカメラを使い始めた。編集部からはフィルムを箱単位で無料配布されていたが、2003年あたりから1眼のデジタルカメラを使って欲しいと言われ始めた。

仕方なく、中古の D30(APS-C サイズ311万画素)を中古で20万円以上で購入した。
フルサイズの1D は価格画素数も叶うはずがない。D30では雑誌1ページでカラーは苦しかった。
でも、1眼デジタルの凄さを痛感した！

この当時、アマチュアカメラマンは、ポジフィルムで楽しんでいたので！

📷 Canon EOS D30 2160×1440ピクセル 180dpi 原画像(修整なし) ※ここではリンクして見れません！



2004年10月頃購入
Canon EOS-10D APS-C サイズ

640万画素

メーカー希望小売価格 オープン価格

2003年3月発売

1眼の30D を使ってみて、デジタルの時代になることは間違いないと確信していた。
取材も本格的になって編集部から、カメラマンでポジフィルムを使っているのは岡村さんだけよと言われるようになった。
なんとか、都会に追いつかないと……でも1D は中古でも手が届かない。
なんとか頑張って、30D より2倍の画素数になった10D を中古で購入した。
この頃、レンズも Canon のf2.8クラスでを新品で次々と購入していた時だった。
10D をメインカメラにして30D をサブカメラとして使い始めた

📷 Canon EOS 10D 3072×2048ピクセル 180dpi 原画像(修整なし) ※ここではリンクして見れません！



2006年8月頃購入
Canon EOS-30D APS-C サイズ

820万画素

メーカー希望小売価格 オープン価格

2006年3月18日発売

2006年に第1回写真展、2008年に第2回写真展をした。
第1回目ではポジフィルムで現像した写真とデジカメで印刷した写真が混ざって個展をした。
第2回目にはポジフィルムは1/3で、デジタル画像は2/3となっていた。

また、取材や個展で一番働いてくれたカメラとなった。
よく使って、かなりの報酬を頂いて稼ぐことができた機種である。

カメラとしては、真夜中の暗い撮影にも耐えるようになった。
小さなノイズは入るものの個展でも十分と使えるものだった。

📷 Canon EOS 30D 3504×2336ピクセル 72dpi 原画像（修整なし）



2009年4月頃購入
Canon EOS-5D Mark II フルサイズ
2110万画素
メーカー希望小売価格 オープン価格
2008年11月29日発売

一気に画素数が1000万画素を突破して2000万画素の時代になれた。

またやっとフルサイズに辿りつけた。取材の時に風呂の中とか部屋の中で17mmでも入りきらない時があった。
14mmF2.8で単焦点レンズも持っていたが、APSCでは無理があった。

フルサイズカメラで前機種の5Dも考えたが、どうせなら発売したばかりの5D Mark IIにした。

30Dで書いたように、5D2の新品を買えるほど余裕があったのだ。

カメラ屋さんに行って注文するつもりが・・・2日後には手に入ってしまった。

衝動買いとでもいうか・・・現金で買っちゃいました。

フルサイズはいい。

とにかく良い。

広角での撮影は抜群の威力を発揮してくれた。

おそらく、今後のカメラもフルサイズになるだろうかと確信した。

📷 Canon EOS-5D Mark II 5616×3744ピクセル 72dpi(修整なし)



2010年4月頃
PENTAX Optio E80
約1000万画素
メーカー希望小売価格 オープン価格
2009年8月20日発売

長旅の北海道へ行くのに道中のメモ代わりに小さ目のカメラが欲しかった。

原稿を書くときに走っている場所の雰囲気やどんな道を走ったかをメモしていた。

1眼カメラは大きくて運転をしながらひとりで撮影は危険極まりない。

約8年ぶりのコンパクトカメラ。IXY320の充電電池も弱っていた。

3倍の画素数に心が動かされた。いざという時に専用充電電池は切れる。

そこで、乾電池式を選んだ。これはメモ代わりに使えた。

📷 PENTAX Optio E80 3648×2736ピクセル 72dpi(修整なし) 中に2048×1536ピクセルも混ざる





2012年9月頃購入

Canon EOS 7D APS-C サイズ
約1800万画素
メーカー希望小売価格 オープン価格
2009年10月発売

何を思ったのか？と言われそうである。ちゃんと理由があるのだ。
孫の保育園での運動会がきっかけだ。高速連写が使ってみたくなった。
それは家のものに対するの言い訳である。

実は自転車ロードレースを良く撮りに行っていた。
地元出身の「小森亮平選手」を高校生時代から追っかけをしていた。
プロカメラマンと並ぶと1Dクラスの連写が横で流れるように聞こえていた。
ちょっと悔しくも羨ましいのだ。さすがに1Dクラスは持てないので7Dにした。

大会の取材撮影依頼して誓約書も提出して何処からでも撮れるように許可をもらった。
ゴール時の直線コース撮影時は、プロカメラマンのレンズは300F2.8だったが、私は400F2.8を持っているのだ。
400mm×約1.5倍(APS-C)で600mmだ。

どうだ…。

ゴールの瞬間をプロカメラマン(故高木プロ)の撮影画像を見せてもらったら…。

さすが…腕も叶わないか！

ちなみにグリーンのジャケットは「新城幸也選手」で世界最高峰ロードレース(ツール・ド・フランス)に出場して日本人で初めて完走した選手である。(小森選手は右端) プレスとしてカメラを向けた時は手が震えた。

この後、息子といっしょにもう一台7D Mark IIを共同購入した。

孫の野球や運動会と28-300mmレンズでの相性も抜群だ。

📷 Canon EOS-7D 5184×3356ピクセル 72dpi(修整なし)



2016年10月頃購入

Canon EOS 5D Mark III フルサイズ
約2230万画素
メーカー希望小売価格 オープン価格
2012年3月発売

2016年から5D2と5D3の画像が混在する。
レンズの付替えが面倒で同じフルサイズタイプが2台欲しかった。
ボタン位置も変わらず使い勝手がよく同じ動作で使えた。
車中泊カーネルの雑誌も本格的になり取材回数も増えていった時だった。

常用 ISO 感度が最高 ISO25600※まで拡大したことにより、手持ちでの夜景撮影や、暗いシーンでのポートレート撮影時でも、ノイズを抑えた美しい画像の撮影が可能になった。

📷 Canon EOS-5D Mark III 5760×3840ピクセル 72dpi(修整なし) ※画像は10MGまでの画像のみ





2017年5月購入
 Canon EOS-M10 レンズキット購入
 ミラーレスデジタルカメラ APS-Cサイズ
 約1800万画素
 メーカー希望小売価格 ¥82,800円
 2015年10月発売

以前から小さくてレンズが交換できるカメラが欲しかった。
 東京旅行が決まって、カメラ屋さんに見に行ったら、衝動買いをしてしまいました。
 少し前の型であるが手頃な値段だったので・持って帰った。
 カメラのサイズが小さくミラーレスなので使い勝手は良かったのが、画像を残すことを考えると1眼カメラを持っているものからすると、どうせ撮るなら綺麗に残したいと思った。
 ダブルズームキット (EF-M 15-45mm F3.5-6.3 IS STM、EF-M 55-200mm F4.5-6.3 IS STM 付)
 📷 Canon EOS M10 5184×3456ピクセル 180dpi 原画像(修整なし)
 M(ミドル)サイズとS2(スモール2)サイズが混ざってます



2017年頃購入
 OLYMPUS VG-145 × 13台
 約1800万画素
 メーカー希望小売価格 ¥82,800円
 2011年8月11日発売

このカメラは、デジカメ教室で使う為に中古で購入した。
 生徒さんにデジカメの使い方、絞りやシャッター速度、ISO感度を説明するためのもの。
 同じカメラで同じ説明で操作してもらった。
 使ったのは3年くらいで、そのうち皆さん自分のカメラを持参するようになった。
 今では、前ボケや背景ボケなど絞りの説明に使ってます。
 実際に並べて生徒さんのカメラで撮影してます。
 撮影した写真はありません。
 ※故障しているのではありませんヨ…動きます！
 📷 OLYMPUS VG-145 5184×3456ピクセル

※画像無し



2020年5月頃購入
 Canon EOS 5D Mark IV フルサイズ
 約3040万画素
 メーカー希望小売価格 オープン価格
 2016年9月8日発売

ミラーレスカメラにするかどうか迷った。レンズがEFで揃えているのでミラーレスカメラに移行するのを躊躇した。
 今一度、EFレンズが使える5DIVの中古を買うことにした。発売して4年が過ぎているのに平気で20万円超えて驚いた。
 高画素・高速連写・高感度などの基本性能がバランス良く向上。
 35mm フルサイズ CMOS センサーおよび映像エンジン「DIGIC 6+(プラス)」の搭載により、常用 ISO 感度 ISO100~32000 を実現しています。新開発ミラー振動制御システムの採用により、最高約7コマ/秒の高速連写を実現。
 動画4K/30P は凄いのだが…私には動画はまったく必要のないものだ
 📷 Canon EOS-5D MarIV 6720×4480ピクセル 72dpi(修整なし) ※画像は10MG までの画像のみ





2022年 Canon EOS-R5 購入

Canon EOS R5 ミラーレスフルサイズ
約4500万画素
メーカー希望小売価格 オープン価格
2020年7月発売

写真教室の講師をしている。

2021年にはミラーレスカメラを持った生徒さんが半分以上で、教える立場で使っていないのは駄目でしょう。

どうせ買うなら…R5にしました。

高い・高すぎる…。

雑誌に掲載する画像サイズは3000(横)ピクセルでも大きすぎます。

雑誌の為なら、まったく必要性のないサイズなのだが…どうせ買うならとなった訳である。

しかし良い。なんとと言ってもボディ内5軸手振れ補正機構、AF フレーム最大1053分割でどこでもピント合わせができる。連続高速シャッターが最高約20コマだがメカシャッターにしても余裕で8~10/1秒は使える。小学校の運動会では余裕だ。買ったときより1年が経ったが値段が高くなっているのには驚きた。

5DMark2を買った時のフルサイズを体感したとき以上に、R5のミラーレスカメラに驚いている。いままでに使っている EF レンズだが、それなりに使えている。RF レンズに変換していかないといけません。

📷 Canon EOS-R5 8192×5464ピクセル 72dpi

下記画像は、画像解像度はサイズ変更してます

サイズが大きすぎて転送できませんでした

4000×2668で元サイズの半分以下に縮小してます

他は一切編集していません。

